

### <事業者の概要>

1. 所在地：徳島県鳴門市大麻町池谷字柳の本19番地
2. 代表者：代表取締役 立花 治
3. 主な品目：酒類
4. 主な輸出先国・地域：アメリカ、オーストラリア、シンガポール等
5. 事業概要：1804年創業。酒類の製造・販売。徳島県鳴門市内で唯一の清酒醸造蔵で、徳島県産米にこだわり、徳島県産酵母を使用した日本酒は、海外の日本酒コンクールで受賞するなど、高い評価を受けている。



ライブコマース撮影



直売所での情報発信

### 【輸出の取組内容】

- 1987年、アメリカ、香港へ輸出。その後、輸出先をオーストラリア、シンガポール、EU等に拡大し、現在は14カ国へ輸出。
- ジェトロ等が主催する商談会に参加するとともに、徳島県内で開催される商談会を中心に参加。
- 徳島県酒造組合の加盟5社で連携し、シンガポール向けにインターネットによる日本酒の実演販売「ライブコマース」を実施。
- 商社を通じた間接貿易をしつつ、自社で対応可能な国については直接貿易をしている。

### 【取組経緯】

- 売上増加を目指し、海外へ販路を検討する中、1987年、輸出商社を通じ、アメリカ、香港へ輸出を開始。
- ジェトロの伴走支援プログラムを利用し、販路を拡大。

### 【課題と対応方法】

- 海外での自社製品の認知向上  
→ 自社の日本酒「鳴門鯛」のネーミングに、国内における鯛のおめでたいイメージを重ねた販売活動を実施。
- 現地でのニーズ把握  
→ 海外商談会に際し、商談企業の日本法人と事前打合せし、現地企業に合わせた自社製品の提案。

### 【今後の事業展開】

- ✓ 中東市場などの新たな販路を開拓するとともに、輸出先現地での人脈等の活用による販路拡大を目指す。
- ✓ 直売所や酒蔵見学等を通じて外国人観光客を取り込み、海外での情報発信を狙うとともに、インバウンドにも注力していく。
- ✓ 当酒造場を育む美しい農村等の景観などを海外に情報発信し、徳島県産農産物を使ったリキュールの輸出拡大を目指す。

### 【実績】

輸出額（万円）		輸出国・地域割合（％）	
2022年	3,100	アメリカ	74
2021年	2,700	オーストラリア	7
2020年	2,000	シンガポール	7
		その他	12